



正月の靖国神社=平成30年元旦

謹賀新年

政府は二十二日、一般とも遺族代表とあつた。会計総額を九十七兆七千七百十八億円とする平成三十年度予算案を閣議決定した。前年度当初予算に比し、千五百八十億円増え、六年連続で過去最大を更新した。高齢化と北朝鮮情勢の緊迫化を背景に、医療費や年金などの社会保障費と防衛費が

30年度 本会要望概ね達成 新たに遺留品調査経費計上

平成三十年度政府予算案は、十二月二十二日午前の閣議で決定した。本会関係では公務扶助料、遺族年金等の据え置きをはじめ、遺骨収集事業関係費、戦没者遺児による慰霊友好親善事業の実施等その他の処遇改善項目に係る予算も概ね概算要求通りに計上された。また新たに、遺留品調査の迅速化に係る経費が新規に認められた。



平成30年1月15日 第805号

一般財団法人日本遺族会
 〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一三
 〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一三
 〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一三
 電話 03-3261-5521
 03-3261-5522
 03-3261-5523
 03-3261-5524
 03-3261-5525
 03-3261-5526
 03-3261-5527
 03-3261-5528
 03-3261-5529
 03-3261-5530
 03-3261-5531
 03-3261-5532
 03-3261-5533
 03-3261-5534
 03-3261-5535
 03-3261-5536
 03-3261-5537
 03-3261-5538
 03-3261-5539
 03-3261-5540

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。



新年のごあいさつ

日本遺族会会長
 参議院議員
 水落敏栄

ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。昨年は九州北部豪雨や、台風などの自然災害により多くの地域で甚大な被害が発生しました。被災された、いままも、不自由な暮らしを余儀なくされている皆様、心よりお見舞いを申し上げます。今後とも政府、与野党、丸お見舞いを申し上げます。力をつくして参ります。昨年は、本会にとって

は、地元選出の自民党所属の国会議員に戦没者遺族望望実現に対する理解の処遇改善に関するお願と協力を求める運動を展開した。その結果、本会の要請事項は概ね実現した。平成三十年度政府予算案における戦没者の処遇は、公務扶助料、遺族年金等の据え置きをはじめ、遺骨収集事業関係費の推進では、二十二億八千万円が計上され、うち、南方、旧ソ連地域の遺骨収集事業が昨年より一億四千万円増額された。特に、遺骨の情報収集に係る経費の強化は、慰霊友好親善事業は、

ご遺族の皆様にはお元気で新しい年をお迎えのことと拝察いたします。昨年は九州北部豪雨や、台風などの自然災害により多くの地域で甚大な被害が発生しました。被災された、いままも、不自由な暮らしを余儀なくされている皆様、心よりお見舞いを申し上げます。今後とも政府、与野党、丸お見舞いを申し上げます。力をつくして参ります。昨年は、本会にとって

本年と同様に十七地域、九百人を確保。また、本会が海外等に散逸する戦没者遺品の返還等の推進を厚生労働省に求めたが、新たに遺留品調査

次世代へ語り継がなければなりません。本会がその決意を形にしたのが、昨年三月に発足した戦没者の孫、ひ孫等をつくる青年部であります。結成に至るまでは困難を極めました。戦没者遺族と意識することもなく、平和で豊かな社会に育った世代です。その青年部の心を動かしたのが発案した女性の熱意でありました。

支部長交代
 神奈川県
 神奈川県
 田邊 富士雄氏
 (十一月十五日付)

主は長男、太郎氏。朝田國典氏、日本遺族会元理事、奈良県遺族会元会長。十一月二十八日、逝去された。八十五歳。葬儀は「A」ならけんせしモノホールで挙行された。喪主は長男、保雄氏。阿部一也氏、日本遺族会元評議員、山形県遺族会元会長。十一月五日、逝去された。七十二歳。葬儀はせしモノホールで開催された。喪主は長男、和宏氏。

「元日や晴れて雀のものがたり」であった。今年も清々しく朝から暮までは初日の出の話題で持ちきりであるが、この句まだ寝床にいて雀のおしやべりを聞いているのだという。晴れては新年の運まきつた空の晴れとめでたく年が明けたいの二つの意味がある。やかなん元日の目覚め現代の都会人には縁遠くなったのであろうか。そんな中、新年恒例の一般参賀が2日皇居で行われた。参賀者数は12万6720人で平成に入ってから最多となった。天皇陛下は皇后さまと皇太子さまと午前と午後の計5回ラングに立ち、本年が少しでも多くの人に寄り添うか、心豊かな年となるよう願っていますと述べられた。ある参賀者は陛下の穏やかな表情を見られて良かった。新しく即位される皇太子さまは雅子さまも応援していきたいと話した。平穏を願うものである。▼年頭からAI(人工知能)の話題が目についた。AIは料理や掃除の他将棋や囲碁の名人を打ち負かす小説や新聞記事まで書くという。いづれ労働人口の半数が代替えできるといふ試算もある。そして何と云ってもビッグデータと呼ばれる膨大な情報を分析、学習して賢くなるという。我々人間は平穏な暮らしが永く続くよう先の大戦の歴史、平和の尊さをしっかりとデータに刻みこまねばならないと思ふ所である。(A)

最後に昨秋の安倍改造内閣において、文部科学大臣、内閣府副大臣を再び拝命いたしました。改めて遺族に頂戴しました温かいご支援を深く胸に刻み、与えていただいた使命、職責を全うすべく、真に豊かで安定した平和な社会で、すべての子どもたちが、たくさんの夢にチャレンジできる教育環境の充実を目指し、精進努力を重ねて参りますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

「声なき声」

「声なき声」

洗心懇談会 (順不同)

東郷 会
 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会
 特攻隊戦没者慰霊顕彰会
 三笠 保存 会
 中央 乃木 会
 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
 隊 友 会
 日本 郷友 連盟
 水 交 友 会
 借 行 社
 靖 国 神 社
 英 霊 に こ た え る 会
 日 本 遺 族 会

謹賀新年

一般財団法人
 日本遺族会
 会 長 水落敏栄
 副会長 宇田川 劔雄
 同 市来 健之助
 専務理事 畔上 和男
 他役職員一同

五地域で288柱を收容

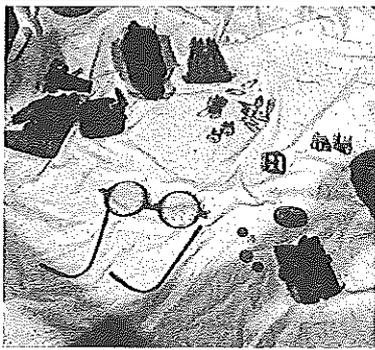
遺骨情報収集現地調査等で

JARRWC

日本遺族会は、日本戦没者遺骨収集推進協会（JARRWC）が実施している遺骨に関する情報収集を行う現地調査及び硫黄島の掘削立会調査に派遣協力しており、マリアナ諸島、ミヤンマー、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、硫黄島に本会から各調査に一人を派遣し、情報の収集、埋葬場所の試掘等の活動を行っている。



現地住民の協力を得て、埋骨地の試掘を実施＝12月14日、ミヤンマーのカレワ地区タージ村で



遺骨とともに見つかった遺留品＝11月18日、ソロモン諸島ムンダで

海外の戦域における現地調査は、現地で入手した情報、国立公文書館等における資料調査や厚生労働省から提供された戦没者の埋葬地を特定する情報、推進協会及び厚生労働省から提供された戦没者の埋葬地を特定する情報、推進協会及び厚生労働省に寄せられている

30年度政府予算における戦没者遺族処遇改善項目

- 一、遺族年金等（別表）
- 二、遺骨収集事業等の推進
 - 23億8000万円
 - (1)硫黄島遺骨収集事業 13億7200万円
 - (2)南方、旧ソ連地域遺骨収集事業 7億1900万円
 - (現地調査、遺骨収集、法人運営費を含む)
 - (遺骨収集実施地域：19地域) フィリピン、東部

- 三、戦没者慰霊事業等
 - 5億7200万円
 - (1)全国戦没者追悼式経費 1億5100万円（1県あたり国費参列者55人の2585人、うち少なくとも一人は18歳未満の遺族）
 - (2)慰霊巡拝等 4億2100万円
- 四、慰霊巡拝等
 - 8700万円
 - (実地地域：12地域) フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、パラオ諸島、北ボルネオ、ミヤンマー、中国、硫黄島、ハバロフスク地方、沿海地方、イロク地方、沿海地方、アルタイ地方、ケメロポ州、ノボシビルスク州
 - (3)政府建立慰霊碑の補修等 5400万円（補修調査・インド、補修工事・海外）
 - (4)海外・国内民間慰霊碑の管理 2200万円
 - (5)慰霊友好親善事業 2

公務扶助料等年額一覧表

種別	平成30年4月より(月額)	対象遺族
公務扶助料	1,966,800 (163,900)	軍人(少佐まで同級)
特別扶助料	1,573,500 (131,125)	軍人(少将まで同級)
扶養加給	72,000	軍人
先順位遺族年金	1,966,800 (163,900)	軍属、一部軍人
同遺族給与金	1,966,800 (163,900)	海軍属
同特別遺族年金	1,573,500 (131,120)	軍属、一部軍人
同特別遺族給与金	1,573,500 (131,120)	海軍属
後順位遺族年金	72,000	軍属、一部軍人
同遺族給与金	72,000	海軍属
同特別遺族年金	56,400	軍属、一部軍人
同特別遺族給与金	56,400	海軍属
世帯共済給付のある年金	193,200	軍人
特設年金	456,400	軍人、軍属、海軍属
特別特設年金	335,000	同上
対馬丸特別支出金	1件・年額 1,376,760	遺族手直し

(注)上記の年額表は、日本遺族会事務局による試算で、多少異動することもあるため、ご了承下さい。

戦没者の遺骨に関する情報に基づき現地調査を実施することを目的として、マリアナ諸島には、九月と十一月に派遣協力をし、関係行政機関等と協議を重ねて許可を得て、テニアン島の洞窟内等を調査した結果、五十八柱の遺骨を收容した。ミヤンマーには、九月と十一月にそれぞれ派遣し、カレワ、タム、トンザン、カレワ等で試掘を実施し、十二柱を收容した。東部ニューギニアでは、十月から十一月の間に計三回の派遣が実施され、オロ州で三十五柱、マタン州及びサンダウ州で十九柱を收容した。ビスマーク・ソロモン諸島では、七月と十一月にソロモン諸島のガダルカナル島、ビスス島、マ

四、昭和館事業 4億6700万円
昭和館の運営に係る経費 0円
五、遺族相談員の謝金 一人年額：2万6000円



青年部の共同代表会議で挨拶する水落会長＝12月10日、千代田会館で

青年部・共同代表会議を開催

事業内容や運営方法を協議

日本遺族会は十一月十日、共同代表八人が集まり、千代田会館に青年部・共同代表会議を開催した。会議冒頭に、水落敬栄本会会長が挨拶し、三浦紗子女性部長が議長となり、議事を進めた。共同代表は、青年部の規約、目的について改めて確認し、追悼式への参加、慰霊碑等の清掃、遺骨収集・慰霊巡拝への参加、SNSを活用しての世帯宛紙等の事業内容や運営方法等について協議した。その後、青年部の役員人事に関する部長、副部長、幹事の選任について話し合った。

また、本年度の青年部と女性部の合同研修会を二月十八日に開催することが決まった。

御社奉斎

靖国神社の奉仕で 十二月二十六日、本会事務所の御社奉斎が執り行われた。御社奉斎は午前十一時、靖国神社の奉仕で執り行われ、祝詞奉読に続き玉串が奉斎された。御社奉斎には幹事事務局長、理事、本会事務局職員が参列し、本会事業の達成と戦没者遺族の方々の健康を祈願した。

日本遺族通信 年間定期購読のお知らせ

毎月、お手元までお届けする年間定期購読です。戦没者の英霊顕彰（遺骨帰還、慰霊友好、慰霊巡拝）、遺族の処遇改善等々の遺族関係の情報を掲載しておりますので、是非、この機会にお申し込みください。次世代を担う青年部（孫・ひ孫）の皆様も是非お申し込みを。

年間購読料／1,560円（1年間 12回 税金・送料込）
お申込み→日本遺族会事務局 ☎03-3261-5521
FAX03-3261-9191

一般財団法人 日本遺族会への賛助金のお便り

日本遺族会では、英霊顕彰や遺族援護など様々な活動のために賛助金を募っております。本会は、これまで英霊の顕彰並びに戦没者遺族の福祉増進をはかるため、日々活動を行ってきたところでございますが、東日本大震災により収益部門であった九段会館が開館したことに伴い、現在、慰霊友好親善事業をはじめ遺骨収集等各種事業の規模が大変厳しい状況にあります。本会といたしましては、各種事業を行うにあたり、今後とも努力していくことは勿論のことですが、戦没者遺族並びに本紙ご購読者、本会の諸事業にご賛同される皆様方より一層のご支援・ご協力を仰がなければなりません。

本会の活動の趣旨にご理解を賜り、何卒ご賛同いただきますようお願い申し上げます。大変恐縮ですが、ご賛同いただいた方の氏名を本紙に掲載し、お礼に代えさせていただきます。

賛助金のお振込みは

- 郵便振替 00130-2-694929
- みずほ銀行 九段支店 普通預金 0980930

口座名はいずれも「一般財団法人日本遺族会：ザイノヒソソカイ」

※ご不明な点は本会事務局(電話03-3261-5521)までお問い合わせ願います

好業 友事 霊善 慰親

ミヤンマーを訪問

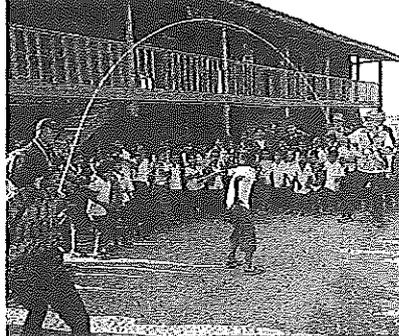
各地で亡き父の冥福祈る

水落敬栄本会会長を総括団長とする戦没者遺児によるミヤンマー慰霊友好親善訪問団は、十二月十三日から二十一日までの九日間、永年の念願であったミヤンマーの各地を訪れ、亡き父の眠る地において七十有余年に及ぶ思いを父と語り、慰霊を行ったほか、小学校や病院を訪問し、学用品や車椅子等を寄贈するなどの民間外交を行った。

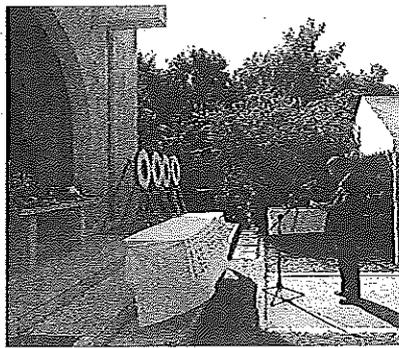
ミヤンマー慰霊友好親善訪問団(総括団長水落敬栄本会会長、副団長田中良洋、成田へ移動、翌十三日成田を出発し、同日ミヤンマーの地に歩を印した。十四日より二班に分かれ、それぞれの慰霊地へ)ゴン、モバリン、ムトン、と向かった。A班はヤン・ビュ、トング、ブロー

C班はカレミョーの小学校を訪問し、団員が持ち寄った学用品等を贈呈し、子供たちと交流を図り、楽しいひとときを過ごした。

さらに、A班はブローの総合病院、B班はパガンの総合病院、C班はカレミョーの総合病院へ、それぞれ車椅子を寄贈し、現地の方々との友好を深めた。



ボン・クー小学校を訪問し学用品等を寄贈後、生徒と交流=12月16日、カレミョーで



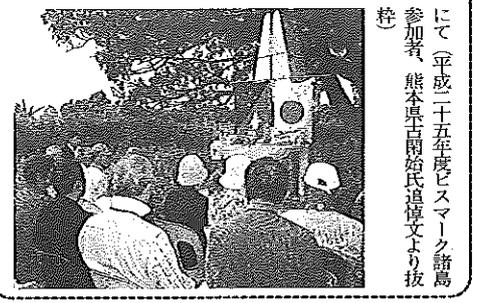
「ビルマ平和記念碑」前で全戦没者追悼式を挙行し、水落敬栄総括団長(本会会長)が追悼の辞を述べる=12月19日、ヤンゴンで

お父さんへ

お父さん、始です。今何日本遺族会のお世話になり此の地、ブーゲンビル島に来る事ができました。生まれてから、お父さんと呼んだ事がなかった。記憶の中にもない、一度いひからかされてみたかった。遅くたってすみません。七十年が過ぎました。出征した昭和十八年四月にはお母さんのお腹にいました。十八年八月三日十日に生まれた時は、戦地に向かっていた。お父さん、長男だから始と名前を貰いました。家族を残し国のために此の地で果てられました。祖父見送りを頂きました。母ブーゲンビル

母、母に育てられてきました。小さい時に近所の人達からよく、逸雄さんに似ているといわれました。勉強家で責任感の強かったと言われました。戦争の事は多くは聞いていません。お父さん、会いたかった始です。七十年経ちました。遅くたってすみません。迎えに参りました。母も待っています。一緒に帰る母の手を握ってください。もう戦争は嫌です。遅くたってしまいましたが、お父さんの子供でよかった。

二月四日 ブーゲンビル島ヌヌマ



本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願 金につきましては、ご賛同 している本会への賛助 いただきました左記の

方々に対し、お礼申しあげます。

なお、大気読録ではご ざいですが都道府県別に ついては、送金方法によ り居住地域が特定できな 場合があるため、省 略させていただきます。

賛助者名 敬称略 カ タカナ名は銀行振込、漢 字名は現金書留等)

富士本 志井順二郎、 内田利彦、中森源一、井 村田利彦、田中善隆、原 村田利彦、田中善隆、原 勝義、玉佐隆、安原千寿 子、寺川忠喜、木村郁 子、山本哲也、新城幹子、 中村久子、川島茂夫、森 ました。

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人 情報は「個人情報保護法」の定めにより、厳 重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方 針につきましてはホームページを参照され ば、本会にお問い合わせください。

遺児の参加者募集

中国地域を実施

募集要項は次のとおり。

▼地域及び時期

- A班 北京、太原、鄭州
- B班 上海、南京、武漢、
- C班 上海、武漢、岳陽、
- 長沙。
- D班 廣州、桂林、長沙。

▼参加費 10万円

▼参加資格 戦没者の 遺児

▼その他 集會場所は、 東京等に集合し、結団式 及び渡航に係る説明会を 行うため、集會場所まで 及び解散場所からの交通 機関はご自身の手配とな る。また、移動に係る国 内交通費及び帰国時の宿 舎費は別途負担となる。

泊代、渡航手続手数料等 は個人負担となる。

▼申込方法 在住する 各都道府県遺族会事務局 へ。参加者の資格審査に当 り、申込書の記入項目の 全てに記入を要するの で、事前に申込用紙を取 得る。

▼申込締切 一月二十 二日

り寄せていただき、記入 項目に不明な点(戦没者 の部隊名等)があれば各 遺族会に相談し条件を満 たしたうえで提出願いた い。なお、申込多数の場 合は選考となる。

室内で厳粛に執り行われる慰霊祭=中国廣州で

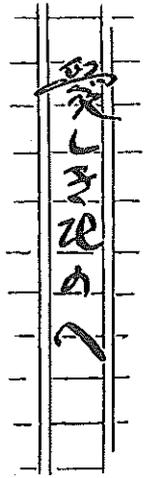
外苑整備工事を実施

婦人部奉納の時計塔が移設

靖国神社

靖国神社では平成三十一年に創立百五十周年の節目の年を迎えるにあたり、記念事業を計画。本殿の冷暖房設置やバリアフリー化を施すなど、高齢化のご遺族等が参拝しやすい環境整備を行うこととした。なお、このたびは境内外苑整備工事が行われ、昭和四十年十月に、本会婦人部が奉納した「靖国の時計塔」の移設工事が十二月二十九日に終了した。

靖国神社創立百五十周年「中心に計画した。設開連工事としては、殿内冷暖房設置とバリアフリー化を施し、高齢化のご遺族や崇敬者が参拝しやすい環境整備を施す。靖国会館内装飾改修、休憩所の設置工事では、靖国会館内の経年劣化に伴う改修工事を行い、公衆トイレには休憩所を新設した。



思ひ出の日

陸軍曹長 川本 重俊

昭和二十年三月八日 ビルマ、チャウビョー東カンゴー付近にて戦死
兵庫県武庫郡御影町出身 二十八歳

御無沙汰致しました。相変はず御両親始め皆元気の事と思っておりますが、随分寒さもきつい事です。後征も寒さに負けず大きくなつてみますか。

こちらは相変はずの暑さで、皆は特にむし〜してゐて一日中汗が滲んで、毎日洗濯と水浴に追はれて居る様です。然し皆元気で頑張つてゐるから安心して下さい。

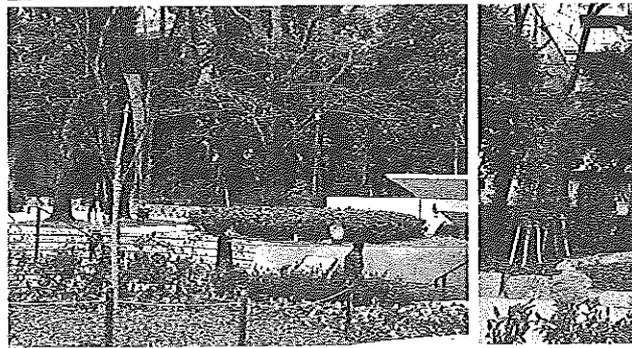
こちらで正月元旦に写した写真が出来上がったので、郵便で今日送りますが、この葉書よりは大分遅れる事です。一枚は松の代りに梅子の葉で飾つた門松を背景に日章旗を中に立てて、隊長殿・森川大尉殿を中心に、別の一枚は裸で餅つき風景を撮つたのですが、残念ながら白がにきれて見えなくなりました。後ろに写つてゐるマンゴの樹が、今を盛りと香りを放つてゐます。来月あたりには、実が熟して来て兵隊を喜ばせる事です。

(中略)
後征も近く満一年、可愛い姿を偲んでゐます。昨年の今日の寒さを思ふにつけても皆さんの健康を案じてゐます。呉々も御自愛、後征の養育にも充分注意して間違ひの無い様。
三月七日 思ひ出の日

【原稿のみまよ
愛しきものへ
平成三十一年一月靖国神社遺族会

境内外苑整備工事は、本会婦人部が奉納した「靖国の時計塔」等の移設工事を行うとともに、外苑全般のインフラ整備を実施し、平成三十一年六月末日の完了を目指している。

なお、この靖国の時計塔は昭和二十八年四月一日「戦没者等の妻に対する特別給付金支給法」を制定し、戦没者の妻の特別な立場を認め、フリー化を施し、高齢化のご遺族や崇敬者が参拝しやすい環境整備を施す。靖国会館内装飾改修、休憩所の設置工事では、靖国会館内の経年劣化に伴う改修工事を行い、公衆トイレには休憩所を新設した。



インフラ整備工事を実施している外苑全般
移設された木会婦人部が奉納した「靖国の時計塔」=12月29日、靖国神社境内外苑で

慰籍の方途を講じたこととして、昭和四十年十月に奉納した時計塔である。

福島県で日章旗返還

O B O N N ソ サ エ テ イ

戦没者の遺品の返還運動を推進しているO B O N N ソ サ エ テ イから本会に照会があった、ガダルカナル島で戦死した大橋勲助さんの日章旗について、福島県遺族会へ遺族の捜索を依頼していたところ、大橋さんが伊達市降原町出身であることが分かり、遺族の所在も判明した。大橋さんの日章旗は、イリノイ州在住の米国人男性が元米兵の父親が戦地から持ち帰ったものを、戻らなかつたので感謝深



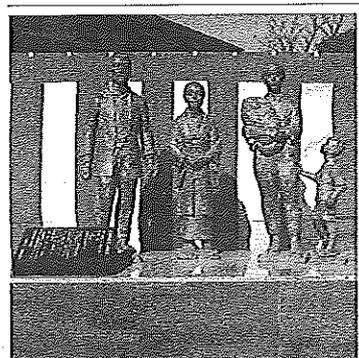
日章旗を受け取る甥の大橋さんから遺族=11月21日、県遺族会館で

徳島県で除幕式

戦没者を見送った家族像

徳島県遺族会は十二月二十日、徳島県内各支部に対し、遺族基金の造成を要請し、これを認め、戦没者を見送った家族像の除幕式を県内外の遺族会役員等約三百人が参列して開催した。

この像の建立のあたりは、平成二十七年の特別用慰金の総額、増額を奨励した日本遺族会が「終戦七



戦没者を見送った家族像

- 各都道府県遺族会、実施された大会、研修会等は次のとおり。
- ▲山梨県 10月20日 創立70周年記念大会(980人)
- ▲滋賀県 10月21日 青年部会員研修会(10人)
- ▲香川県 10月24日 平成29年度戦没者追悼祭(480人)
- ▲岩手県 10月31日 第61回早稲田戦没者遺族大会(800人)
- ▲青森県 11月3日 青森県遺族会創立70周年記念講演及び祝賀会(190人)
- ▲島根県 11月7日 平成29年度浦津県「島根の塔」追悼式(32人)
- ▲山形県 11月11日 青年部設立式(50人)
- ▲岡山県 11月11日 創立70周年記念式典並びに平成29年度岡山県戦没者遺族代表者大会(630人)
- ▲徳島県 11月11日 第38回語り部事業(40人)
- ▲滋賀県 11月12日 平成29年度後継者(青年部含む)・慰霊巡拝参加者及び女性部と英霊にこたえる会研修会(208人)
- ▲新潟県 11月14日 平成29年度京都府戦没者遺族大会(600人)
- ▲石川県 11月22日 石川県遺族連合会・白山市遺族連合会合同研修会
- ▲愛媛県 11月14日 平成29年度後継者(青年部含む)・慰霊巡拝参加者及び女性部と英霊にこたえる会研修会(150人)
- ▲富山県 12月1日 平成29年度戦没者巡拝参加者の集い(60人)
- ▲福島県 12月3日 平成29年度福島県遺族会研修会(110人)
- ▲茨城県 12月5日 茨城県遺族連合会創立70周年記念大会(1220人)

「九段短歌」休載のお知らせ
九段短歌は新しい選者が決定するまでの間、休載とさせていただきます。